

項番	頁	分野	素案に対する意見(要約)	対応
令和6年12月18日(木) 行財政・DX推進特別委員会				
1	16	医療・福祉	「本当に県民の暮らしを豊かにするためDX推進戦略に入れ込んで進めるんだ」という思いが読み手にも感じられるように文章を修正してほしい。	県の主な取組に、GPS等のICT機器を活用した「 <u>搜索支援</u> 」を追加
2	17	歴史・文化・スポーツ		県の主な取組に、WebサイトやSNSを活用した広報の展開、オンライン予約システムや電子決済システムの導入を追加
3	18	教育		2027年度末までの取組に、海外も含めた多様な人々とのつながりを実現するためにオンラインを活用する、という文言を追加 県の主な取組に、1人1台端末等を有効活用し、県立学校において心の健康観察や遠隔教育を行うための通信環境を整備する、という文言を追加
4	22	防災・災害対応		2027年度末までの取組に、県民のニーズに合わせた防災情報の発信や、デジタル・マイ・タイムラインの提供という文言を追加 また、県の主な取組に、災害リスクの「 <u>自分事化</u> 」を推進する『(仮称)滋賀県防災アプリ』の開発、を追加
5	27	観光業		県の主な取組に、データ活用や分析のスキルアップおよびデータに基づく企画立案などによる観光施策の活性化、という文言を追加
6	36	基盤づくり	「滋賀県データ連携共同利用ビジョン」について、具体的な中長期的な方針が分からない。また、基盤の共同利用によって、何を目指しているのか分からない。	データ連携基盤の説明、県としてめざすべき姿を36ページに記載 その後、今後の具体的な進め方について記載 ・可能な分野から連携を進めるスモールスタートとする ・当面は、非パーソナルデータでの運用を進める
7	全般	-	「デジタル」に関連した言葉の使い方について、言葉の定義について改めて整理すること。	以下のように整理 「デジタル技術」：デジタルツールそのもののこと。 「デジタル化」：アナログからデジタルに業務プロセスを移行すること。 「デジタル活用」：デジタル技術を用いて、新たな価値を生み出すこと。デジタル化よりも上の段階のイメージ
8	概要	-	人口減少などの社会課題について、DXでどう解決していくのか具体的な取組が見えてこない。	「暮らし」「産業」「行政」「基盤づくり/人づくり」の各分野において、2030年の姿および2027年度末までの取組内容を記載
令和7年1月24日(金) 行財政・DX推進特別委員会				
1	21	防犯・安全	「防犯・安全」について、自治振興の交付金も活用しながら、県を挙げて防犯カメラの設置に積極的に取り組み、県警の効果的な捜査、追跡に繋げてもらいたい。	(ご意見として、今後の取組の参考とさせていただきます)
2	36, 37	基盤づくり	「滋賀県データ連携共同利用ビジョン」について、他県が整備した連携基盤(大阪府ORDEN)の活用ありきとなっており、他府県の都合で仕様が変更され、滋賀県が実施したい取組が制限されるリスク等も勘案すると、県独自の基盤整備が必要ではないか。	本県でも独自基盤の構築を検討したが、後発で国が共通基盤の整備を進めた際に二重投資となってしまう懸念や、既に、複数の県で共同利用の方向で検討を進めるという話を伺っているため、滋賀県としても共同利用の活用を進めていく方針である。